

流域治水プロジェクトに基づく取組実施状況 (令和7年度の取組)

第12回 網走川ほか流域治水協議会
第11回 網走川流域における新たな検討の場
第12回 常呂川流域治水協議会

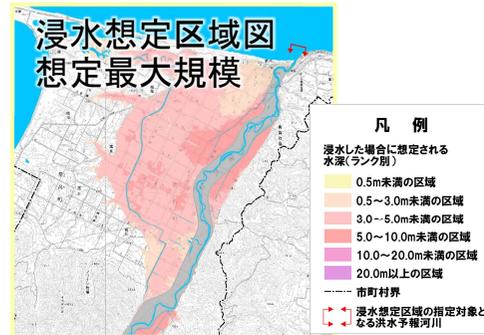
北海道開発局 網走開発建設部

令和8年2月26日

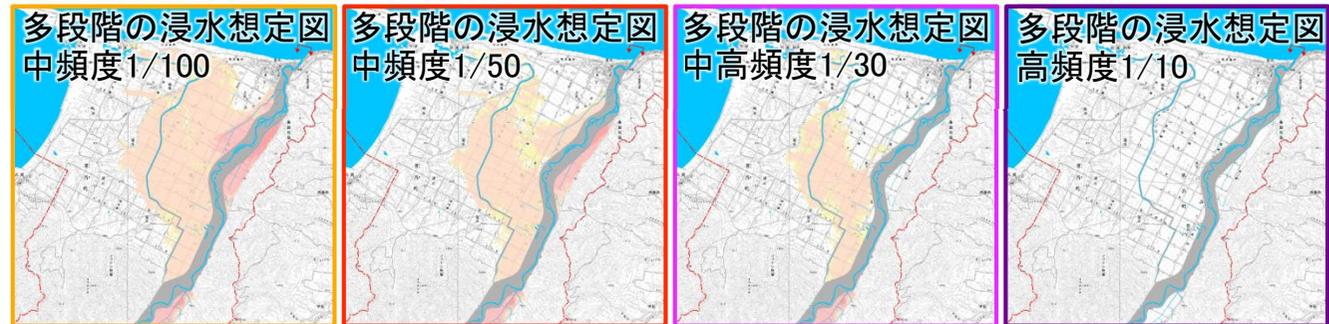
1. これまでの取組（洪水浸水想定区域図、多段階の浸水想定図・水害リスクマップ）

- 国土交通省では、**住民等の迅速かつ円滑な避難**に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「**洪水浸水想定区域図**」を作成し公表している。また、**土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討**など、流域治水の取組を推進することを目的として、**発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため**、「**多段階の浸水想定図**」及び「**水害リスクマップ**」を作成・公表している。
- 現在の「**多段階の浸水想定図**」及び「**水害リスクマップ**」は、**国管理河川の氾濫（外水氾濫）のみ**を示している。

洪水浸水想定区域図



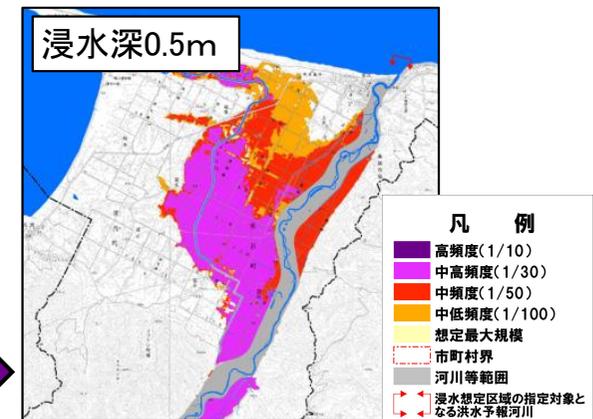
多段階の浸水想定図



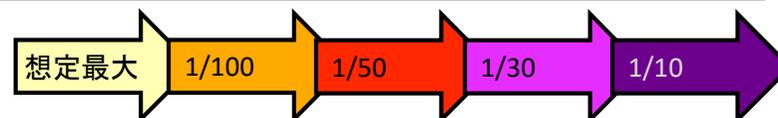
- 想定最大規模、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎(年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100) に作成した浸水想定図。
- 現在公表している図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

水害リスクマップ(浸水頻度図)

- 多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎(0.0m以上、0.5m以上(床上浸水以上)、3.0m以上(1階軒下浸水以上))に重ね合わせて作成した図面。
- 現在公表している図は、**国管理河川からの氾濫（外水氾濫）による浸水のみ**を対象。



確率ごとの浸水区域を重ね合わせ

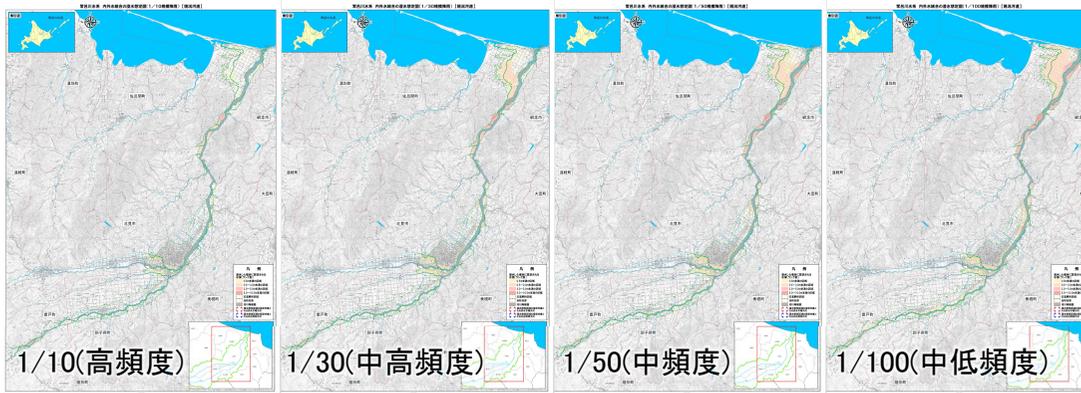


2. 今回の取組(内外水統合の多段階の浸水想定図・水害リスクマップ)

■既に作成・公表している国管理河川(主要河川)からの氾濫(外水氾濫)による浸水域に**その他河川(主要河川以外)の浸水域**(その他河川の氾濫が卓越する降雨シナリオ)、**内水氾濫**(下水道等の氾濫が卓越する降雨シナリオ)を重ねた**内外水統合の多段階の浸水想定区域図、水害リスクマップ**として作成・公表する。

●多段階の浸水想定図

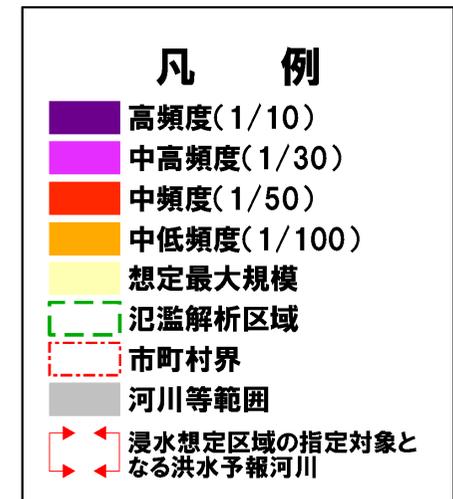
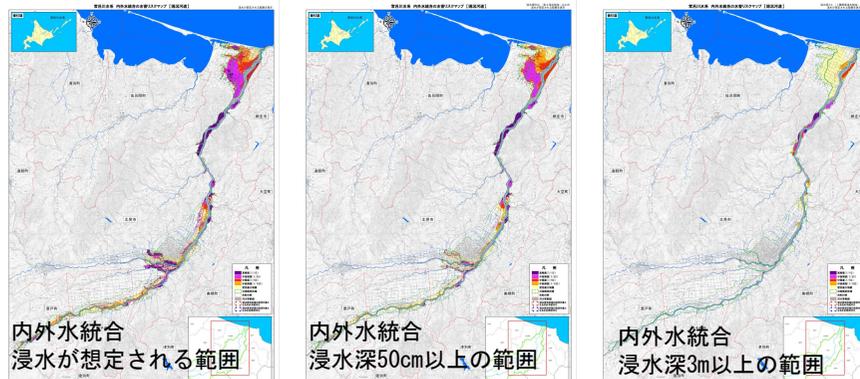
→既公表の浸水想定区域図(L2: 想定最大規模、L1: 計画規模)と同様の表示方法(右図凡例参照)で、降雨規模: 1/10(高頻度), 1/30(中高頻度), 1/50(中頻度), 1/100(中低頻度)の図を作成。



●水害リスクマップ

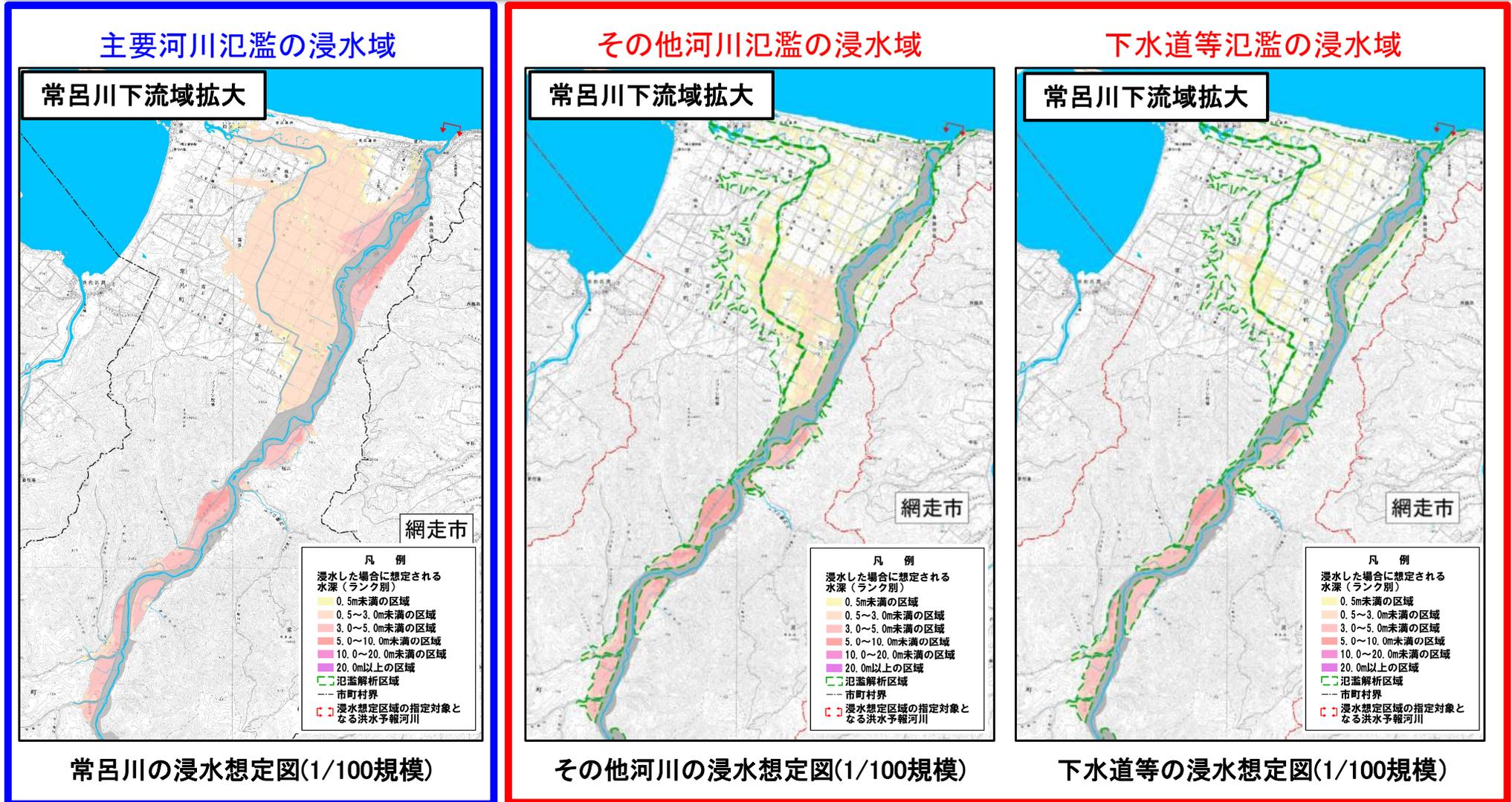
→以下3種類の浸水深レンジ毎に浸水頻度(右図凡例参照)で色分けした水害リスクマップ図を作成

- ・浸水が想定される範囲(主要河川以外の浸水想定図は10cm未満の浸水範囲を除外)
- ・浸水深50cm以上の範囲(1階の床高以上が浸水する(床上浸水相当以上)程度)
- ・浸水深3m以上の範囲(1階の軒下以上が浸水する(1階軒下浸水相当以上)程度)



2. 今回の取組(内外水統合の多段階の浸水想定図・水害リスクマップ)

■水害リスク情報の空白域を解消するため、主要河川の浸水域(既往の外水氾濫、1/10~1/100)の他に、その他の河川や下水道等による浸水域の多段階浸水想定図(1/10~1/100規模)を作成。
(下図は常呂川下流域1/100規模の例)



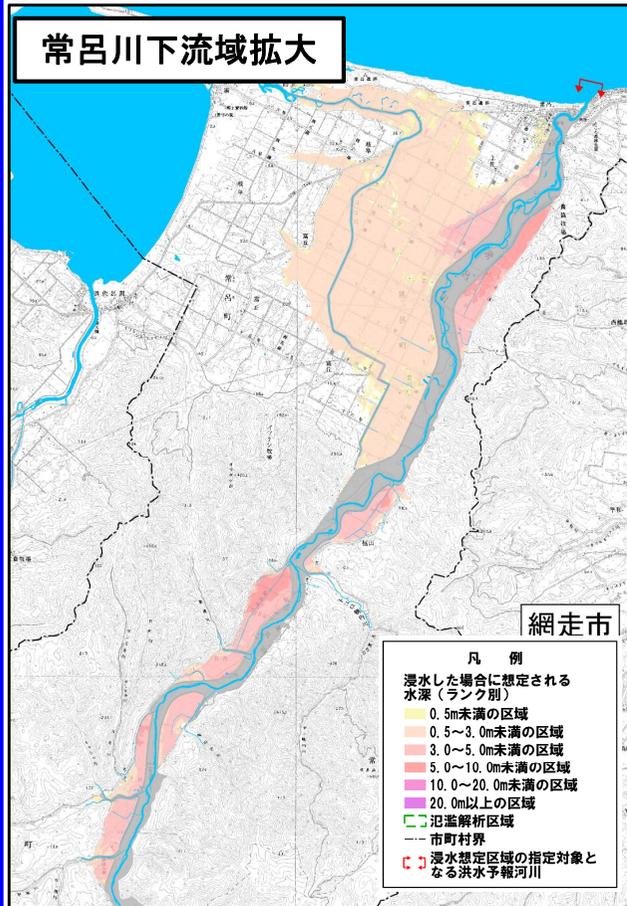
既往作成(外水)

今回作成(内水)

2. 今回の取組(内外水統合の多段階の浸水想定図・水害リスクマップ)

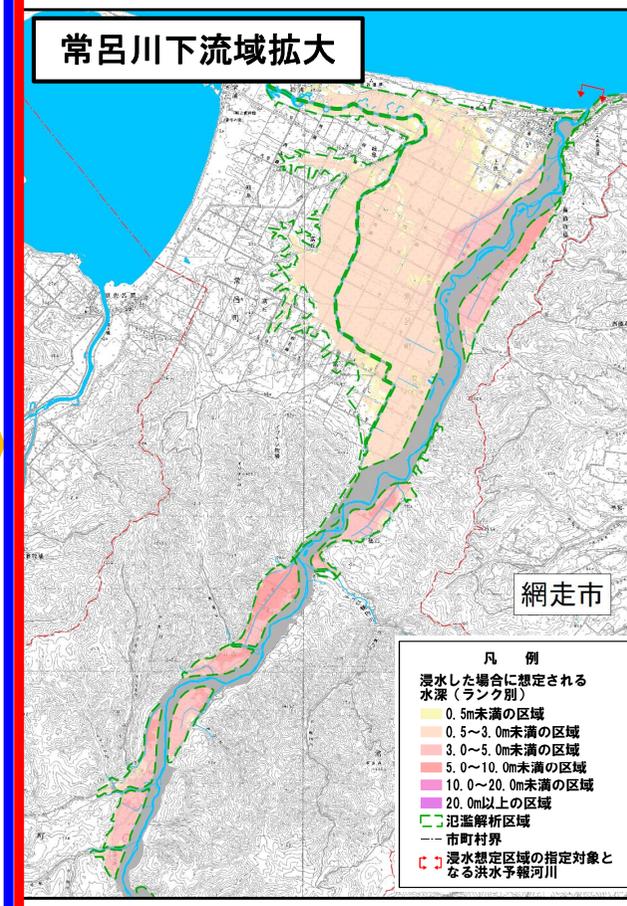
- 水害リスク情報の空白域を解消するため、国管理河川の浸水域(外水氾濫)に内水氾濫による浸水域を重ねた多段階の浸水想定区域図を作成。(下図は1/100規模の例)
- 外水と内水の浸水区域重ね図を作成し、内外水統合型での新たな浸水域を可視化した。

主要河川の浸水域(外水)



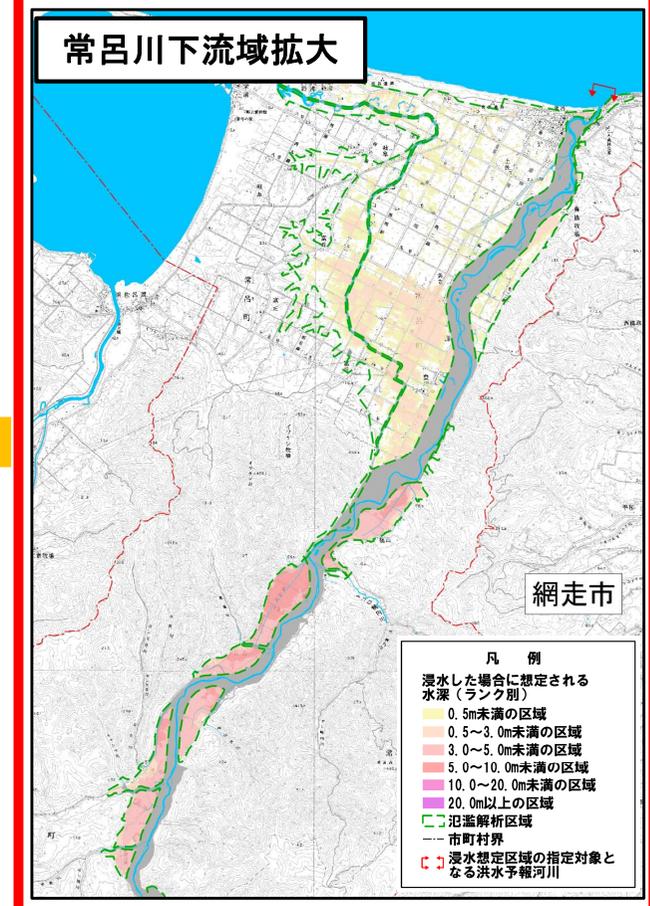
常呂川外水の多段階の浸水想定図
(1/100規模)

内外水統合の浸水域



常呂川内水、外水統合の
多段階の浸水想定図(1/100規模)

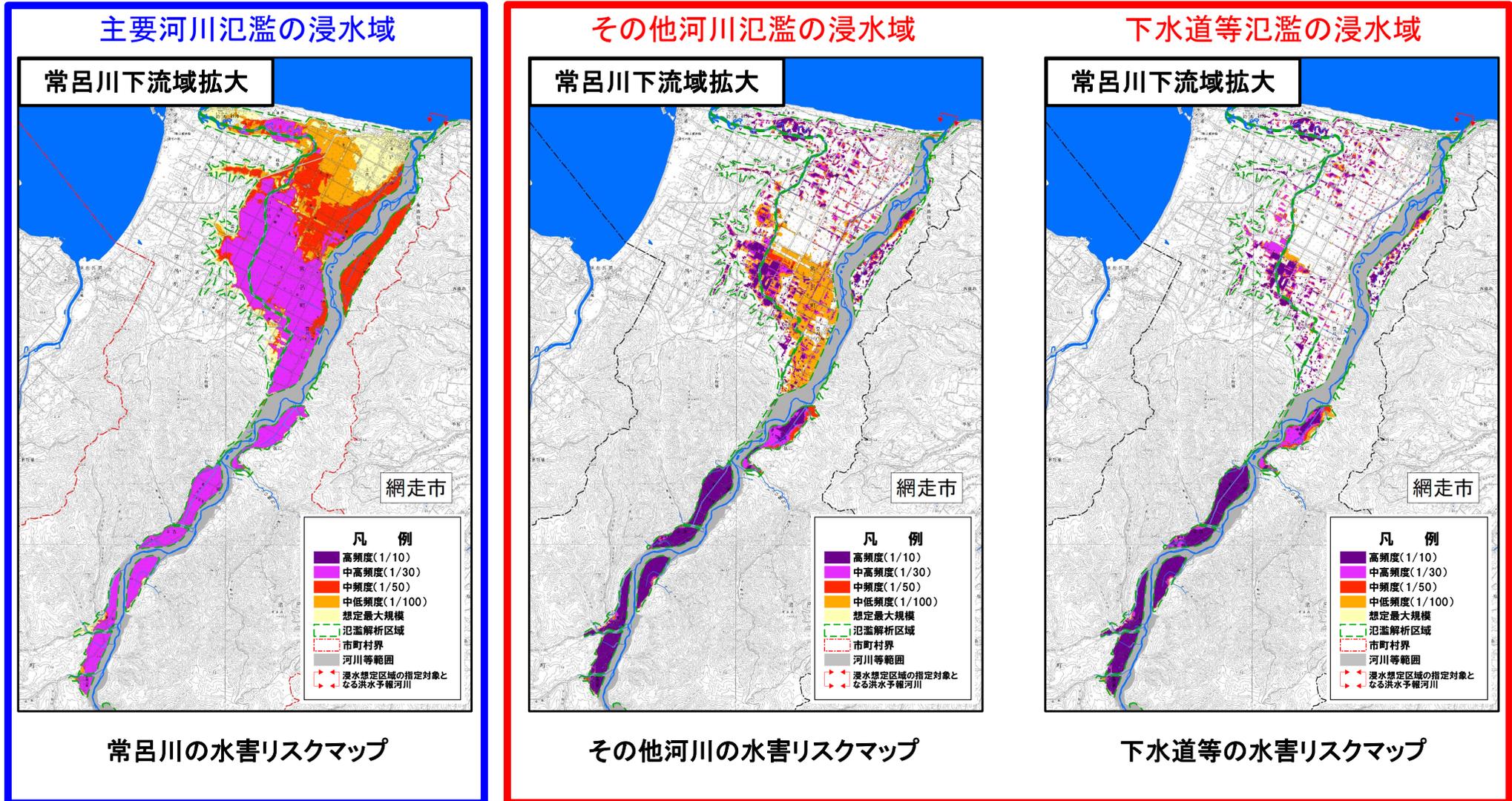
主要河川以外の浸水域(内水)



常呂川内水の多段階の浸水想定図
(1/100規模)

2. 今回の取組(内外水統合の多段階の浸水想定図・水害リスクマップ)

■ 水害リスク情報の空白域を解消するため、主要河川の浸水域(外水氾濫)のほかに**その他の河川**や**内水氾濫**による浸水域の水害リスクマップ(浸水深0.0m以上、0.5m以上、3.0m以上)を作成。
(下図は、浸水が想定される範囲(主要河川以外の浸水想定図は10cm 未満の浸水範囲を除外)の例)

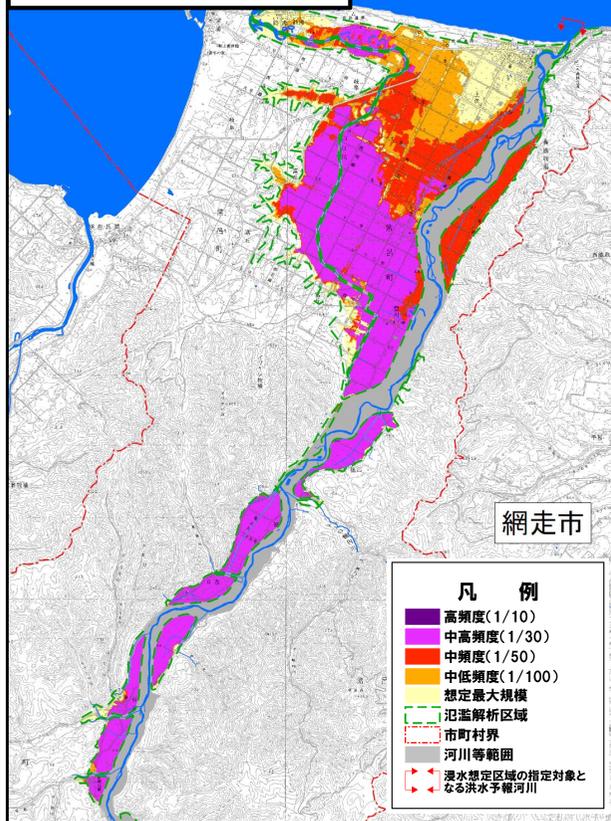


2. 今回の取組(内外水統合の多段階の浸水想定図・水害リスクマップ)

■ 水害リスク情報の空白域を解消するため、国管理河川の浸水域(外水氾濫)に内水氾濫による浸水域を重ねた水害リスクマップを作成。

主要河川の浸水域(外水)

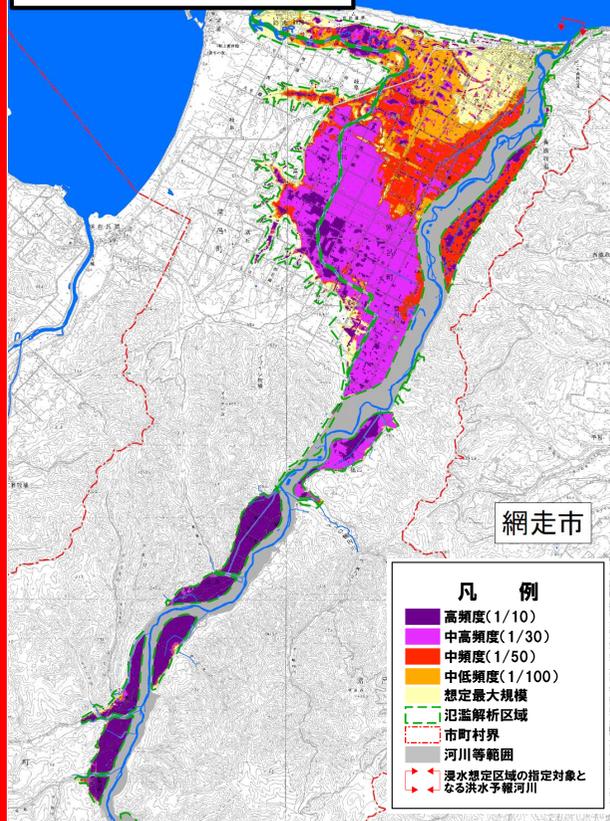
常呂川下流域拡大



常呂川水害リスクマップ
(浸水深0.0m以上)

内外水統合の浸水域

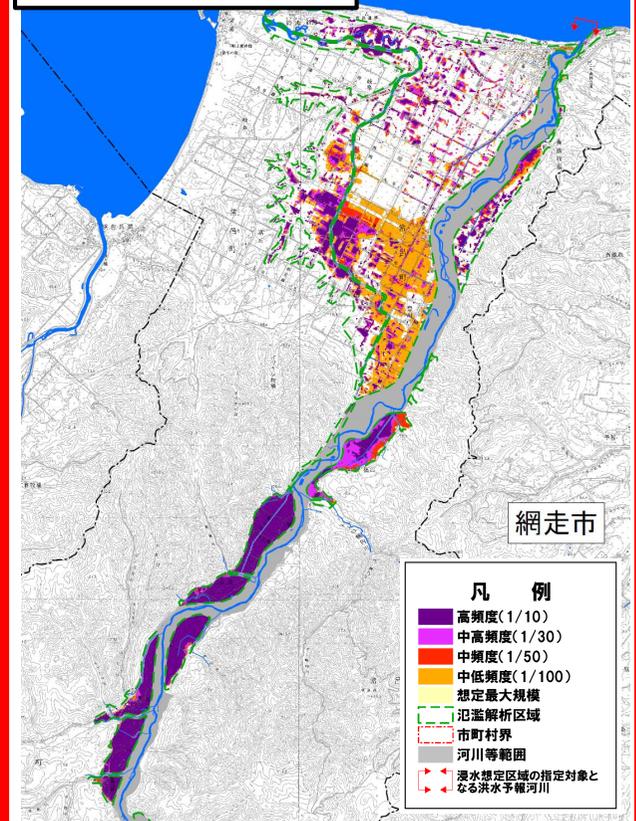
常呂川下流域拡大



常呂川内水、外水統合の水害リスクマップ
(浸水深0.0m以上)

主要河川以外の浸水域(内水)

常呂川下流域拡大



常呂川内水の水害リスクマップ
(浸水深0.0m以上)

■ これらの作成したマップは今年度内に網走開発建設部ホームページにて公表予定